## ヘンタイ良い子のweb講座 ーMicrosoftWordを用いたWebサイト作成ー

岐阜経済大学 経営学部 経営情報学科 井戸 伸彦 来歴:

- 3.0版 2014年12月1日(学内ネット環境対応)
  - 2.0版 2008年9月13日(Office2007対応)
    - 1.0版 2003年10月15日
    - 0.1版 2002年10月12日
    - 0.0版 2001年11月6日

### スライドの構成

- (1)はじめに
- (2)最初のWebサイト
- (3)Webサイトを公開する
- (4)Webサイトを飾る

### 前提

- ウェブサイトを作成する場合、主に次の2つの方法があります。
  - ◆ [ソフト利用] ウェブサイト作成用のソフトを利用する。 (IBMホームページビルダー、Word等)
  - ◆ [HTML] 自身でHTMLを書く。

本講座では、Wordを用いて作成する方法を採っています。

- 内容は基本的な範囲に留めています。
- 説明の方法は、正確さよりも、直感的であることを旨としています。若干不正確な言い回しについては、ご容赦願います。

## (1)作成するものは"文書"

- "Webサイトを作る"と聞くと、何か難しげな術を使うか のように感じていませんか?
- "Webサイトを作る" 時に作成するものは、基本的に 文書です。文書を作成することには、慣れておられる と思います。

- Webサイトを作るときに作成する文書を、"HTML文書"と言います。
- HTML文書のいくつかの特徴を説明していきます。

# (1.1)特徴1:WYSWYGでは無い

- 我々が通常"ワープロ"と呼んでいるもの("Word"等)は、WYSWYG(What You See is What You Get.:ウィズウィッグ)と言う方法を採っています。「文書作成時に見るままのものが、文書として得られる」というわけです。
- HTMLを自分で書〈場合、文書作成時に見るものは、文書として得られるものと外見は違います。しかしながら、単純に対応がつき、難しいものではありません。



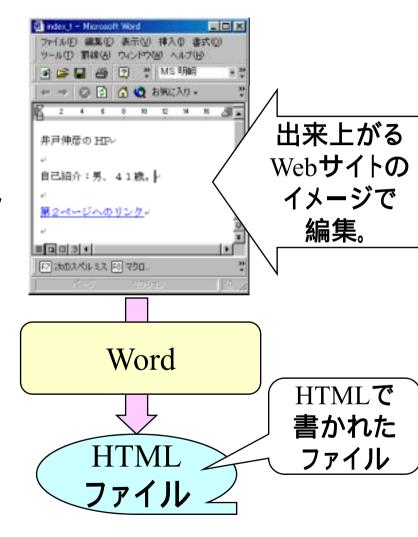




■ 本講座では、WYSWHGであるWordを用いてHTML文書を作成します。次のスライドで、これがどういうことかを説明します。

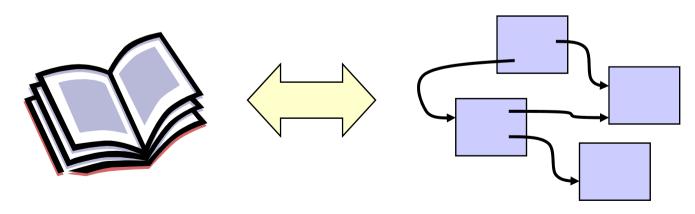
### (1.2)WordでHTML文書を作成する

- Wordは、HTML文書を作成する機能を具備しています。すなわち、WYSWYG(見るままのものが、文書として得られる)にてHTML文書を作成する機能です。
- ■このような目的でWordを使う場合でも、その使い心地は、通常のWord操作とほとんど同じです。ですから、簡単なwebサイトであれば、すぐに完成することが出来ます。



### (1.3)特徴2:ハイパーテキスト

- 紙ベースの文書は、基本的にシーケンシャル(逐次的)に構成されています。すなわち、1ページめ、2ページめ、3ページめ ...、あるいは、1章、2章、3章、...といった具合に、一本のすじの上に並べられます。
- PCに映し出すことを前提とした文書ですから、HTML文書は シーケンシャルである必要はありません。ご存知のとおり、We bサイトは"リンク"を用いて、縦横無尽につながっています。こ のことを、ハイパーテキストと言います。



■ 連続したひとつの画面のことを、"ページ"と呼びます。あるサイトにアクセスした時、最初に表示されるページが、"ホームページ"です。

### (1.4) HTML文書を見ること

<清書画面

IE(ブラウザ)

xxx.html

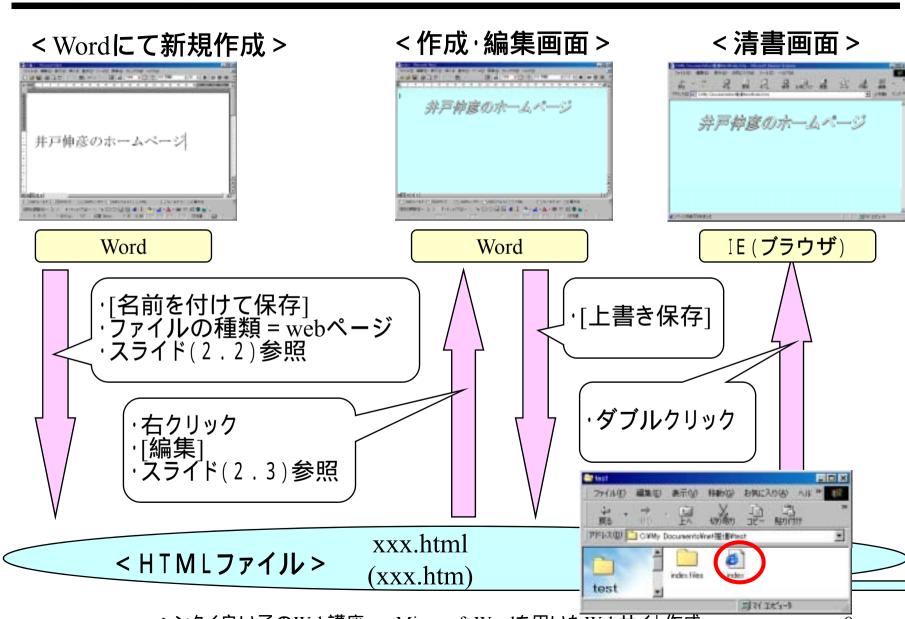
(xxx.htm)

- - Netscape Navigatorとかのブラウザです。
- HTMLファイルは、拡張子".html(.htm)"がついており、これを ダブルクリックすると、PC上では通常はブラウザで開かれます。 これは、拡張子".xls"がついたExcelファイルをダブルクリック すると、Excelが立ち上がることと同じ理屈です。

< HTMLファイル>

- PC画面上では、拡張子は表示されず、アイコンの形でこれを表していることが多いようです。
- "メモ帳"などのテキストエディタでHTMLファイルを開くと、作成したHTML文書を見ることが出来ます。

## (1.5)Wordによるhtmlファイルの操作

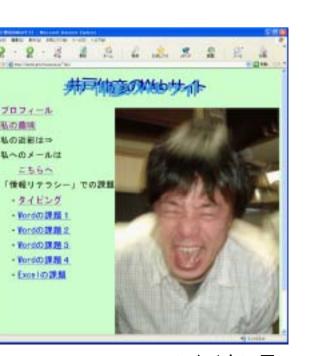


### (1.6)こんなサイトを作る

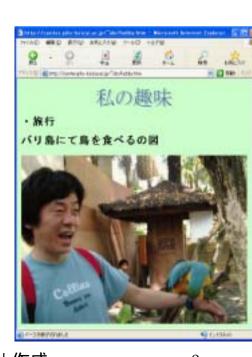
■見本となる井戸のサイトは、次のURLで閲覧できます (学内のみ)。

http://portal.gifu-keizai.ac.jp/ido/

- ●見本と言っても、見栄えば、????です。
- みなさんは、もうすこし趣味の良いものを作ってください。







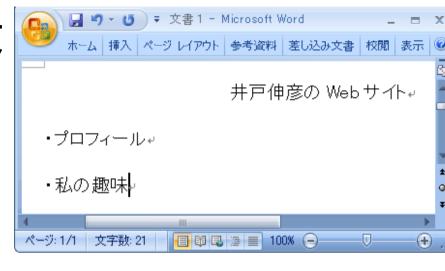
### (2)HTML文書の作成

■次のような、2つのHTML文書を作成します。



### (2.1)HTML文書を作る

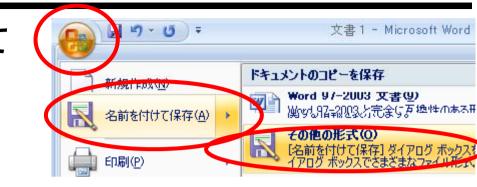
- 最初にMicrosoft Wordを 立ち上げて、右のような文 章を作ってください。
- ■次に、自分のネットワークドライブの中に、 "internal\_html"という名前のフォルダを作っておいて〈ださい。
- ■注意!:フォルダ名の
  "internal\_html"は、
  必ず"直接入力"にて入力
  して〈ださい!



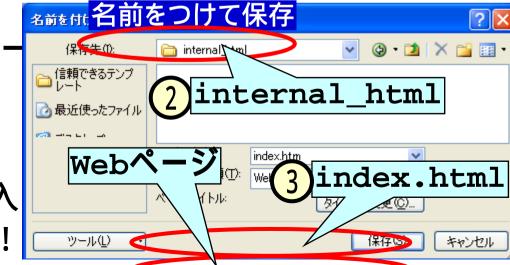


## (2.2)Webページとしてファイルを保存

- [ファイル]-[Webページとして 保存]をクリックします(1)。
- ■「名前を付けて保存」ウイン ドウにて
  - [保存先]には先程作成した "internal\_html"のフォル ダを選択します(2))。
  - [ファイル名]を必ず"index"とします(3)。
  - [ファイルの種類]を"Webページ"とします(4))。
  - [保存]をクリックします。
- 注意!:ファイル名の "index"は、必ず"直接入 力"にて入力してください!

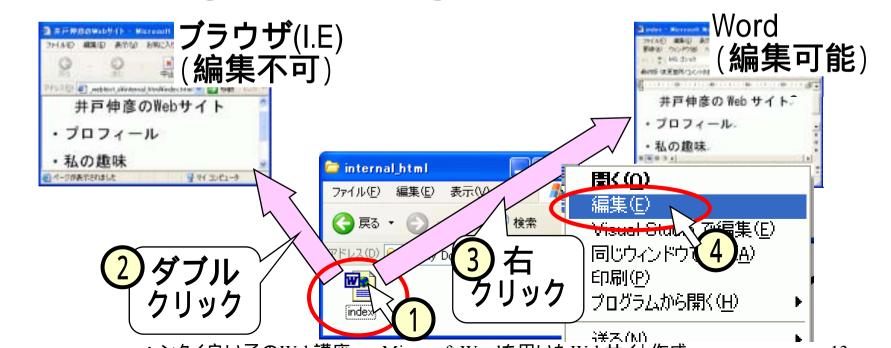






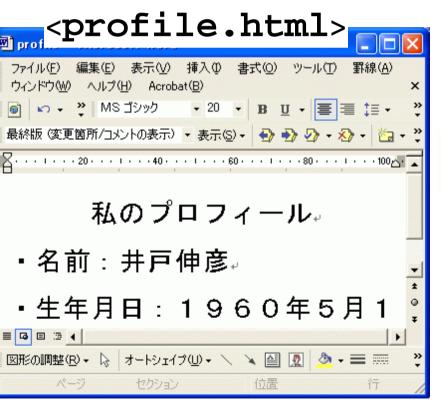
## (2.3)Webページを再び開く

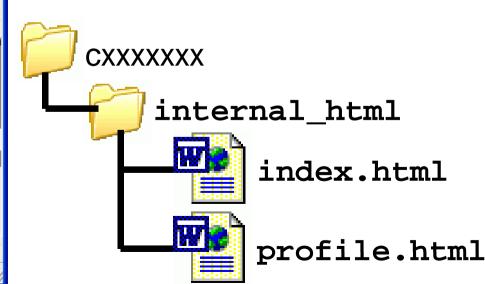
- ファイルを閉じると、作成した"index"というファイル(①) が出来ています。
- これをダブルクリックで開く(2)と、HTML文書として、ブラウザ(I.E.)で見ることが出来ます。
- ファイルを編集するためにWordで開〈際は、ファイル"index"を 右クリック(3))して、[編集](4)を選択します。



### (2.4.1)もうひとつWebページのファイルを作る

■ "index.html"のファイルを作った時と同じ要領で、 "profile.html"という名前の右のような文書をつくり、Webページとして保存してください。

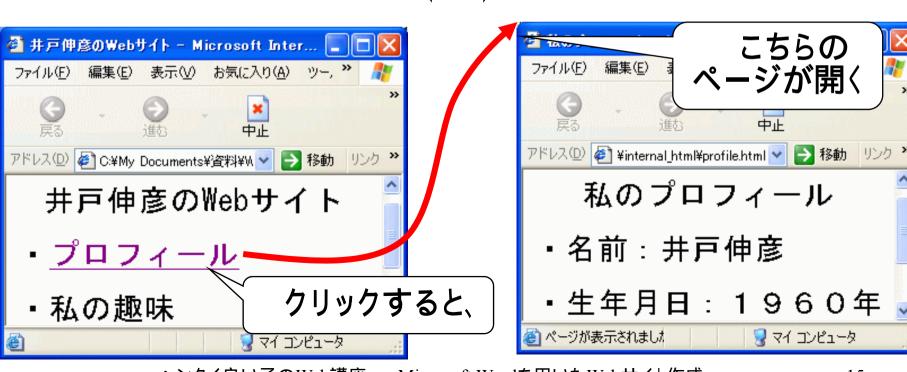




## (2.4.2)ハイパーリンク

■これから、下図のようなリンク("index.html"の"プロフィール"をクリックすると、"profile.html"が表示される)を設定していきます。

<index.html > リンク元 リンク先 < profile.html >

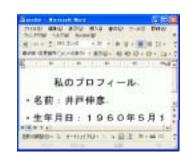


### (2.4.3)リンクの設定 - 1 -

- リンク元である"index.htm"のファイルを、Wordで開きます(スライド(2.3)を参照)。
- リンク元の文字列である、"プロフィール"の文字列を ドラッグして選択し(①)、[挿入]-[リンク]-[ハイパーリンク](②)をクリックします。



file.htm>



### (2.4.4)リンクの設定 - 2 -

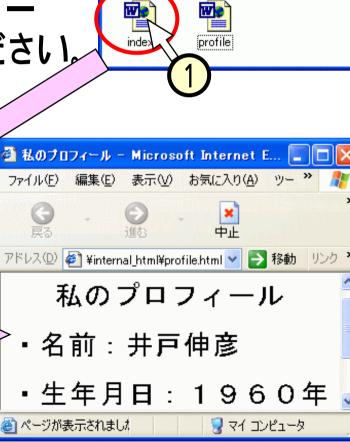
- ■「ハイパーリンク挿入」ダイアログが表示されたら、リンク先のファイル"profile.html"を指定します。
  - [リンク先] [ファイル、Webページ]をクリック(1))。
  - [検索先] [internal\_html]を選択(2))。
  - [現在のフォルダ]をクリック(3)、[profile]をクリック(4)。
  - [OK]をクリック(5)。



## (2.4.5) ハイパーリンクの確認

■編集した"index.html"を保存し、 ダブルクリッケ))してブラウザにより開いてください。

■開いたWebページにて、"プロフィー ル"の部分をクリック(2))してください



internal html

ファイル(E) 編集(E)

表示(V)

🤇 戻る 🔻 🕞 🔻 🎾 検索

アドレス(D) 🧀 ext\_s¥internal\_html 🔻 🗦 移動

## (3) HTML文書をネット上で公開する

- ■ここまで作成したHTML文書は、学内のネットワークで 公開されています。
- ■次のURLのページにアクセスしてみてください。

http://potal.gifu-keizai.ac.jp/~cxxxxxxxx 🗿 井戸伸彦のWebサイ 🗿 私のブロンール - Microsoft Internet Explorer 編集(E) ファイル(F) 7(H) ファイル(F) こちらの ページが開く アドレス(D) 🎒 http://center.gifu-keizai.ac.jp/~ido/ 🔻 🔁 移動 リンク アドレス①) 🎒 http://center.gifu-keizai.ac.jp/~ido/profile.html 🗡 → 移動 私のプロフィール 井戸伸彦のWebサイト 名前:井戸伸彦 プロフィール 生年月日:1960年5月1 私の趣味 クリックすると、 ● ページが表示されました イントラネット

### (3.1)仕組みを知る

- HTML文書としてWebサイトを作成することは、それほど難しくなかったかと思います。
- 作成したHTML文書を"ネットで公開する"。。。。実は、これも手順としては難しいことではありません。しかしながら、どのような仕組みで公開できるのかを知っておく必要があります。仕組みを知っておけば、Webサイトを作成する次の機会にも、スムーズに事を運べます。

## (3.2)ネット上のアカウント

### ■ ローカル環境

• 手元にある自分のPCを、自分で操作する際には、操作する人も、操作 されるファイルも物理的に明白です。

### ■ ネット環境

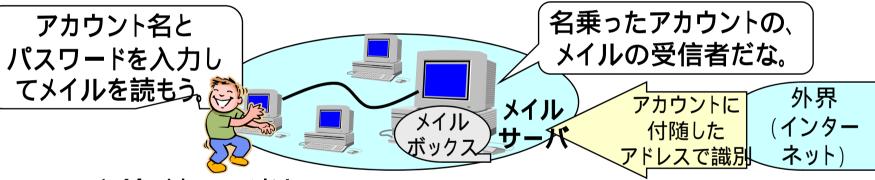
- ネット上の環境は、接続されたどのPCを使っても、操作する人から同じ 具合にファイルが見えるように、作られています。
- このようなファイルは、物理的には"ファイル・サーバ"と呼ばれる特別な 任務を担うコンピュータが持っています。

ネット側では、操作する人を識別するために、アカウントとそのパスワー ドを用いています。 アカウント名と

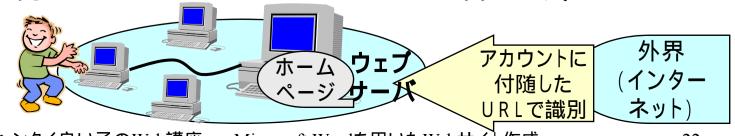


### (3.3)外から見たアカウント

- ネット上のアカウントの公然性
  - ネット上のアカウントには、個人のファイルだけでなく、個人のメイルを 受信する役割も付随しています。
  - あなたのメイルアドレス、XXX@gifu keizai.ac.jpは、世界のどこからでも、それを指定してメイルを送れます。つまり、アカウントには世界に公表する識別名(アドレス)を持たせることが出来ます。



- Webサイトのアドレス:URL
  - これから作るWebサイトも、あなたのアカウントに付随させて作ります。外界へ見せるホームページのアドレスをURLと言います。



### (3.4)あなたのURL

■ あなたのアカウント名が、"cxxxxxxx"であるとすると、メイルアドレスが"cxxxxxxx@gifu-keizai.ac.jp"であるのと同様に、URLも次の通り決まっています。

http://portal.gifu-keizai.ac.jp/~cxxxx

■ 最近は、メイルアドレス同様、URLも名詞に入れることが、なかば常識的になってきています。

#### 岐阜経済大学

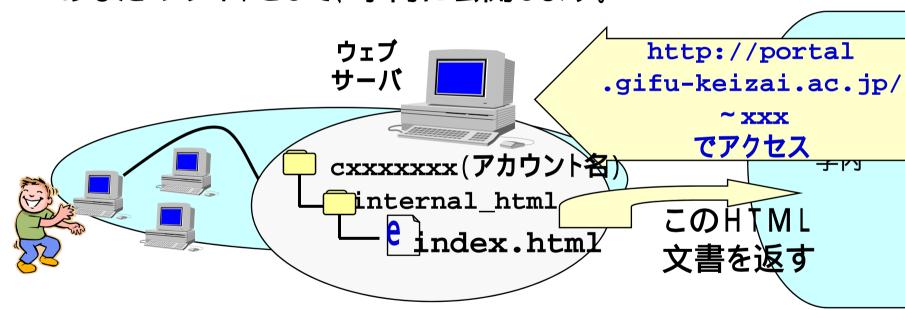
経営学部 教授

#### 小泉 純一郎

〒503-8550 岐阜県大垣市北方町5丁目50番地 TEL:0584-77-3597 E-mail:lido@gifu—keizai.ac.jp URL:http://www.gifu—keizai.ac.jp/~koizumi

## (3.5)webサーバの役割

■ あなたのWebサイトを公開する場合は、"internal\_html" のディレクトリの配下に、"index.html"というファイルをおくことになります。そうすれば、そのHTML文書をwwwサーバがあなたのサイトとして、学内に公開します。



■ 学外からあなたのHPが見えるようにするには、 "public\_html"というディレクトの配下に"index.html"を 作り、さらに、講師の同意の下で電算課に申請しなければなり ません。

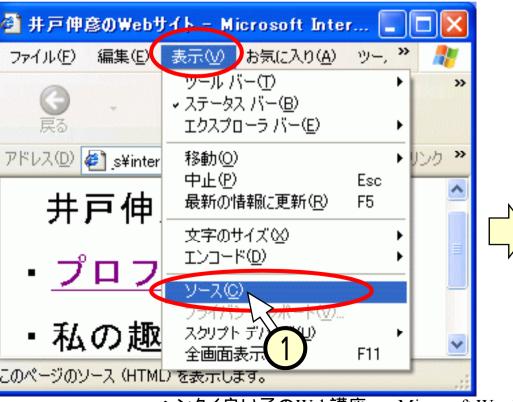
## (3.6)リンク先のWebページの確認

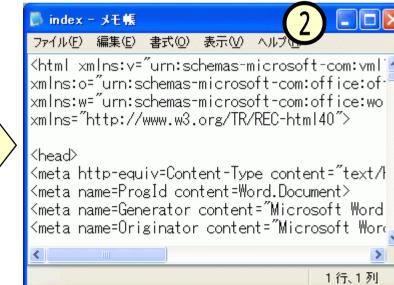
■作成したWebサイトにて、リンク先のページも見てみましょう。

http://portal.gifu-keizai.ac.jp/~cxxxxxxxx 🗿 井戸伸彦のWebサ 🥝 私のプロスール - Microsoft Internet Explorer ツール(T) ファイル(F) 7(H) ファイル(F) 編集(E) こちらの ページが開く アドレス(D) 🎒 http://center.gifu-keizai.ac.jp/~ido/ 🔻 🔁 移動 リンク アドレス①) 🎒 http://center.gifu-keizai.ac.jp/~ido/profile.html 🗡 → 移動 私のプロフィール 井戸伸彦のWebサイト 名前:井戸伸彦 プロフィール 生年月日:1960年5月1 私の趣味 クリックすると、 🥙 ページが表示されました イントラネット

## (3.7.1) HTML文書を少し覗く - その1 -

- 更なる編集の前に、見ているサイト上で、[表示]-[ソース]を選択(1))してみてください。
  - なにかしら不思議なファイル(2)が見えましたね。
  - これが、スライド(1.4)で説明した、清書されていないHTML 文書そのものです。

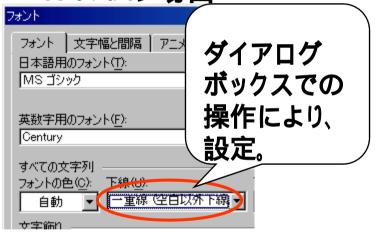


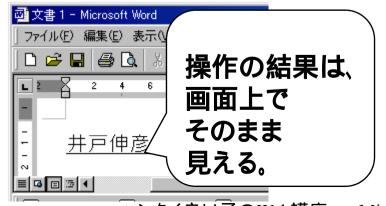


### (3.7.2) HTML文書を少し覗く - その2 -

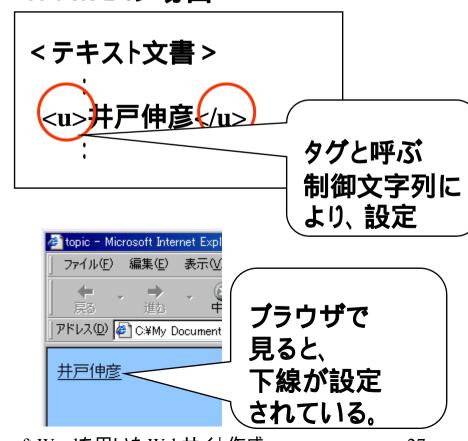
■ 本講座では、HTML文書の作成にWordを用いますから、HTML を知る必要はありません。しかしながら、少し覗いておいて、イ メージを持っておくのは良いことだと思います。

<Wordの場合>



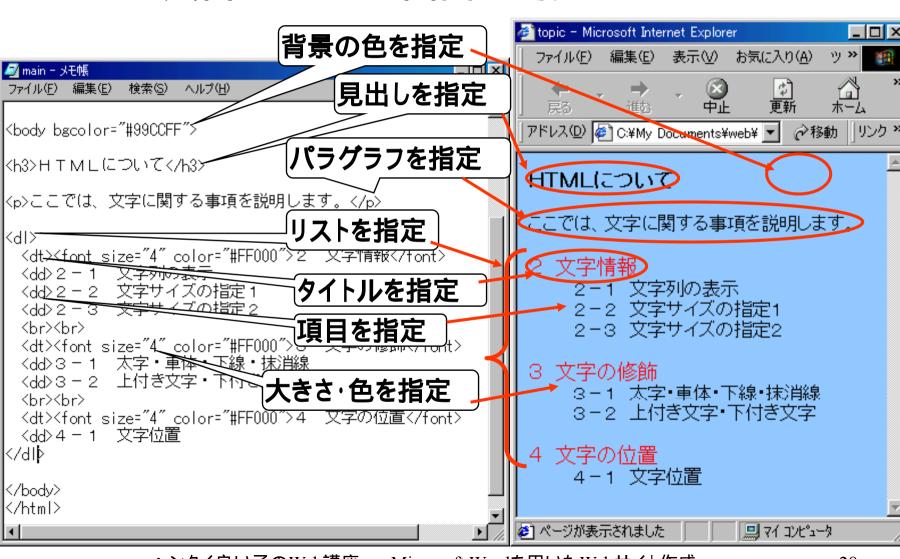


< HTMLの場合>



## (3.7.3) HTML文書を少し覗く - その3 -

### ■ HTML文書とブラウザ画面の対応



## (4)Webサイトを飾る

- ■Webサイトの見栄えを少しずつ整えていきます。
  - 皆さんの好きな見栄え・構成でOKです。
  - ●但し、すべての方法を、どこかで使うようにしてください。



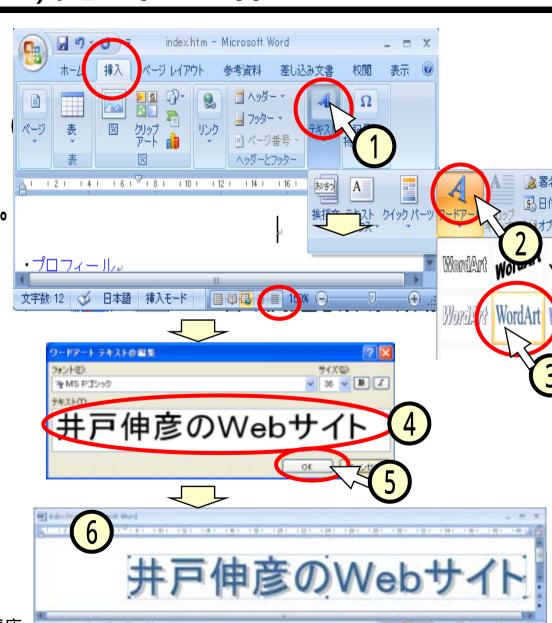
## (4.1)注意事項: 図形等のフォルダ

- ■以降の編集では、"index.html"のファイルを編集して保存すると、というファイル(①)以外に、"index.files"というフォルタ(②)が出来ています。
- ■このフォルダは、Wordが自動的に作ったもので、作成した図形などが格納されています。
- ■アップロード·ダウン おこないます。



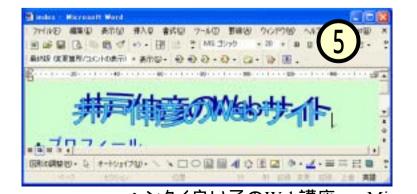
## (4.2)見出しを作る

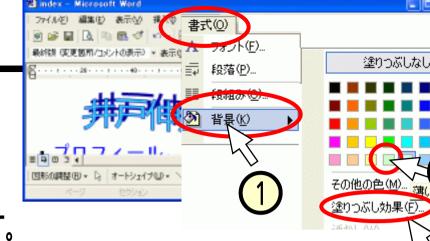
- 下図<sup>6</sup>のような見出 しを作ります。
- [挿入タグ]-[テキスト] (1))-[ワードアート] (2)をクリックします。
- 色々な見出しのスタイルから、好みのものをクリックします(3)。
- 実際に書き込む文字 列を入力(4)して、 [OK]をクリック(5) します。



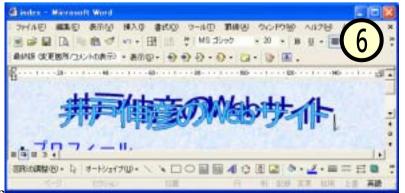
### (4.3)背景をつける

- <sup>5</sup>
  <sup>6</sup>
  のような背景をつけます。
- [書式]-[背景](1))を選んで、 好みの色を選択する(2)と、 5)ような色付の背景となります。
- [書式]-[背景]-[塗りつぶし効果] を選んで(3)、出てきたダイアログ内のテクスチャタブをクリックし、好みのテクスチャを選ぶ(4)と 6 のような風合いの背景となります。









### (4.4)写真を挿入する

■② のように写真を挿入します。

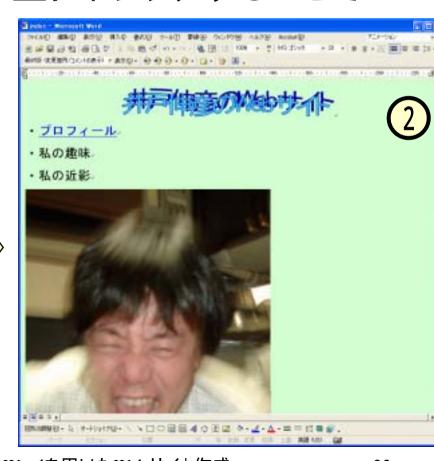
■ 写真のファイル(井戸のネットワークフォルダに置いておきます)をWordウインドウ上にドラッグすることでOK

です。

**i photo** ファイル(F)

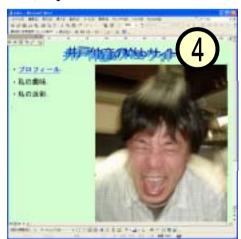
🤇 戻る 🕶

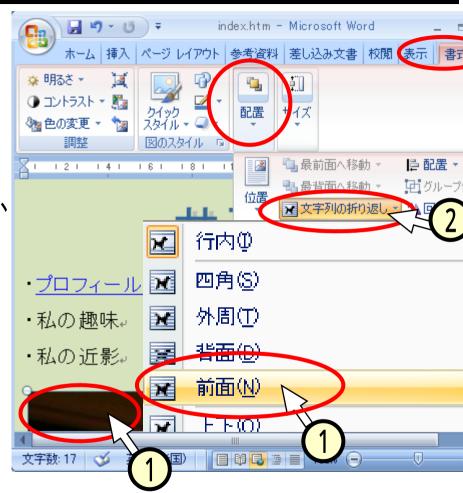




### (4.5)写真を配置する

- 4 のように、写真を配置しま
- 写真を選択(1))しておいて、 [書式]-[配置]-[文字の繰り 返し] クリック(2))します。
- 図の書式設定のウィンドウで、 [レイアウト]を選択し、好み の配置方法をクリック(3))し ます。
- あとは、図の位置をマウスで 調整します。



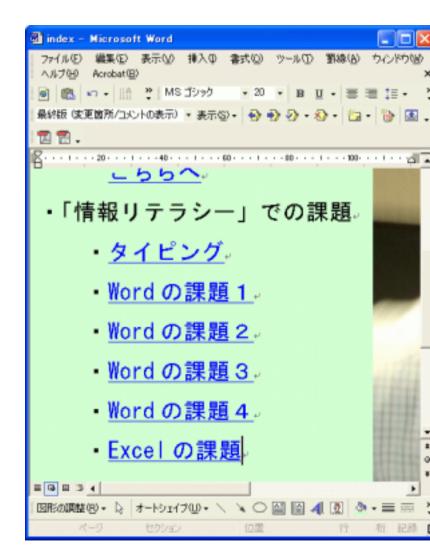


### (4.6)課題へのリンク

■スライド(2.4.3),(2.4.4)と同じ要領で、課題のファイルへのリンクを設定してください。







### (4.8)ページタイトル

- ■[別名でファイルを保存]する際に、[タイトルの変更]をクリック(1))する。
- ■ページのタイトルを入 力(②)して、[OK]を クリック(③)する。
- ■[保存]をクリック(4)) する(「上書き?」には [はい]をクリックする)。
- ■ブラウザでの閲覧の際、タイトルが表示((5))される。

